



JTUC-aomori

No.358 2019年10月10日

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

青森県最低賃金が28円アップで790円に!

発効日は10月4日



8月8日開催の青森地方最低賃金審議会において、「今年度の青森県最低賃金(地域別最賃)を1時間762円から28円引き上げ790円とする」との答申がされた。その後、官報に公示を行ったところ全労連から異議申し立てがあったが、答申内容はそのまま結審した。

発効日は10月4日。この最低賃金はパート・アルバイト等の非正規労働者を含む青森県の全ての労働者に適用される。また派遣労働者には派遣元ではなく、派遣先の産業別最低賃金(12月21日発効)が適用されることとなる。

連合青森は、青森県の最低賃金が改定された10月4日(金)、青森市の「さくら野百貨店」前に

て使用者に対し引上げの遵守、また労働者にも1時間790円以下で働くことがないように周知する街頭行動を行った。

連合青森内村隆志会長は「790円では毎月の手取りが10万円程度にしかならず、人間らしい生活を送るには程遠い」と述べ、「引き上げの運動を粘り強く継続する」と強調した。また10月7日が国際労働機関(ILO)が提唱する「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)世界行動デー」であることをうけ、すべての人が生きることの価値を見いだせるような人間らしい仕事が保障される安定的かつ持続的な社会基盤構築の必要性を訴えた。

| | |
|---|----------------------------------|
| <p>青森県の法定地域別最低賃金は</p> | <p>深夜 (午後10時 ~ 午前5時)</p> |
| <p>2019年10月4日~</p> | |
| <p>790円</p> | <p>1時間あたり 988円</p> <p>25% 割増</p> |
| <p>下回ったら、法律違反!! ※最低賃金の金額未滿で働かせた場合は、使用者には従業員1人あたり50万円の罰金が科せられます。</p> | |

根拠のない区別・格差を解消する！

「同一労働同一賃金の法整備を踏まえた労働組合の取り組み事例」学習会

連合青森は9月24日（火）18時から青森市の県労働福祉会館にて学習会を開催し、各組織から38名が参加した。

この学習会は、2020年4月施行の「同一労働同一賃金」法の主旨やルールに関して理解を深めることにより、非正規労働者の処遇改善につなげることを目的に開催された。

主催者あいさつに立った連合青森非正規共闘連絡会議山内裕幸副委員長は「働き方改革について連合として賛同するところ、出来ないところがある。働く者の目線で実効あるものになるよう、各職場で取り組みを進めてほしい」と述べた。

続いて連合非正規労働センター石黒生子総局長より「同一労働同一賃金の法整備を踏まえた労働組合の取り組み」と題し講演いただいた。石黒総局長は「非正規労働者の3分の1が主たる働



連合非正規労働センター
石黒生子総局長

き手となっている現在、根拠のない区別・格差を解消しなくてはならず、雇用形態にかかわらず共通の均等・均衡待遇規定を整備しなくてはならない」と課題を述べ、「取組手順としてまず待遇の総点検が必要となり、待遇全体の比較ではなく、基本給や一時金、手当など1つ1つの待遇毎に性質・目的を照らし合わせ判断し、不合理が認められた際は是正に向けた労使協議が必要」と法整備の内容を説明した。

新たな気付きや共感を得る

連合青森2019ユースラリー

連合青森青年委員会（三國秀介委員長）主催による「連合青森2019ユースラリー」が9月14日（土）～15日（日）、弘前市で開催され、青年・女性組合員38名が参加した。

ユースラリーは青年・女性組合員の学習と交流の場として毎年開催されており、青年委員会では若年層の組合離れなど多くの組織に共通する課題を踏まえ、とりわけ『交流』とそれによって『参加意識が高まる』ことを活動の主軸としている。

初日は、弘前市アソベの森いわき荘において「グループワーク」や「夕食交流会」を行った。

また、本年は青森県労働者福祉協議会とのタイアップ企画として「若年層向けセミナー」を開催し、東北労働金庫、こくみん共済coopより金融の基礎知識、各事業の活用などについて学習した。

グループワークでは、ワールドカフェ形式で『未来を語ろう』をテーマに意見交換を行った。組合活動のみならず、自分の未来や夢について意見を述べ合い、それぞれの意見を聴くことで新たな気付きや共感を得るとともに交流が図られた。

夕食交流会は恒例のバーベキュー。天気にも恵



グループワーク
「未来を語ろう」



班対抗ドッジビー大会
(岩木B&G海洋センター
体育館)

まれ、各班代表者による早食い競争などで大いに盛り上がった。

二日目は、岩木B&G海洋センター体育館にて「班対抗ドッジビー大会」を行った。ドッジビーとはフリスビーで行うドッジボールのことで、参加者の家族も参戦し、とても楽しい時間となった。

2019平和行動 in 根室

連合は6月から9月までを「全国平和運動強化期間」と定め、平和4行動をはじめとする様々な運動に取り組んでいる。

この平和4行動の最終行動となる2019平和行動 in 根室には、連合青森として9月6日（金）～

9日（月）の3泊4日の日程で参加している。

8日（日）開催の『2019平和ノサップ集会』には全国から連合組合員など1,000名が参加し、連合青森からは内村隆志会長をはじめ7名が参加した。

『2019平和行動 in 根室に参加して』

この度、9月6日から9日まで2019平和行動 in 根室へ参加させていただきました。活動内容は大きく2日に分かれています。

1日目は北海道立北方四島交流センターで「ジョバンニの島」という映画を観ました。映画は実際の話に基づいた内容になっており、今まで知らなかった事実を知ることができました。特に衝撃だったのは、ロシア人と日本人が島で仲良く生活していた時期があったことです。これは、資料館にも写真が残っており、とても驚きました。その後、パネルディスカッションに参加しました。ここでは日本が現在どのようにロシアへ返還へのアプローチをしているか聞くことができました。ロシア軍は軍事力行使し強制的に奪ったのに対し、日本は平和的に解決しようとしていると感じました。ただ、1日でも早く返還を願っている元島民の方々の意に反して、長期の返還行動要求になるのではないかと感じました。

2日目は2019平和ノサップ集会へ参加しました。全国から多くの人々がこの集会に参加していました。開催地の納沙布岬は北方領土が肉眼で確認できる場所です。この集会では政府の現在の活



2019平和ノサップ集会
(納沙布岬・望郷の岬公園)

動報告を聞きました。全国から集まった参加者を見て、この問題は日本の問題なんだと改めて感じました。

今回平和行動に参加することでこの問題に関する認識が大きく変わりました。今までは学校の授業で少し習い、その後はニュースで現状を把握するくらいで、自らこの問題について考えることはありませんでした。元島民は現在平均年齢が84歳だと聞きました。そのため、私たちは元島民の方々から直接話が聞ける最後の世代です。今回の貴重な経験を踏まえて、1日でも早く日本へ北方領土が返還されるよう行動に移していかなければならないと思いました。

三八地協女性連絡会代表幹事 佐藤賀恵（労金労組）

2019年10月行動予定 10月10日現在

- 10月15日(火)17時45分 県労働福祉会館
「第3回食みみ実行委員会」
- 10月29日(火)11時 県労働福祉会館
「第21回執行委員会」
- 10月29日(火)13時 県労働福祉会館
「連合青森第17回定期大会」

2019年11月行動予定

- 11月5日(火)17時 さくら野青森店前
「連合の日街頭行動」
- 11月8日(金)18時20分 県労働福祉会館
「東青地協第31回定期総会」
- 11月9日(土)10時 青森市 アスパム
「青年委員会第4回幹事会」
- 11月9日(土)14時 八戸市 三八労働福祉会館
「三八地協第31回定期総会」

台風15号千葉県災害「緊急支援カンパ」の実施

台風15号により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

令和元年9月9日に千葉県に上陸した台風15号は停電や断水、家屋損壊など甚大な被害を与えた。その後の台風17号による強風が追い打ちを打つなど、日を迫るごとに被害が拡大し、家を失った多くの方々は避難所生活を余儀なくされ、家屋の再建にめどが立たないなど困難を期している。

連合青森は一日も早い復旧を願い『連合青森が今できる最善のボランティア活動』として、「緊急支援カンパ」と銘打った募金活動を9月26日(木)、さくら野青森店前で実施し、多くのご厚意を頂いた。

この活動で集まった募金は連合千葉へ送金し、復旧作業に役立てて頂くこととしている。

また、10月に上陸した台風19号の災害に関しても、今後支援活動をしていくこととしている。



台風15号千葉県災害「緊急支援カンパ」



多くの皆様からご厚意を頂いた募金活動

加重平均で566,937円(2.14ヶ月)

2019夏季一時金、前年を額は上回り・率は同様

連合青森は9月18日に開催された第20回執行委員会で2019夏季一時金・妥結状況(8月31日現在)について報告した。

※対象組合188組合

・妥結組合86組合 (昨年同時期68組合)

・妥結組合率45.50% (昨年同時期36.36%)

・妥結額 加重平均566,937円(2.14ヶ月) (昨年同時期492,894円(2.14ヶ月))

以上となり、昨年比では加重平均で74,043円、月数では昨年同様となっている。

毎月5日は『連合の日』



10月連合の日。田名部定男県議、立憲県連合山内崇代表も参加

連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森も『連合の日』について5日を中心に街宣行動を主として取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

10月の取り組みは、790円になった本県の最低賃金の周知や、10月7日が「ディーセント・ワーク世界行動デー」だとして、働きがいのある人間らしい仕事の追求を訴える街頭行動となった。

連合青森結成30年「パークゴルフ大会」

連合青森結成30年にあたり、『次なる飛躍に向けて -まもる・つなぐ・創り出す-』をスローガンに抱え、記念行事としてイベントやレセプション、記念史の発行などを企画している。

その第1弾としてイベントチームによる連合青森結成30年「パークゴルフ大会」を9月28日(土)10時から八甲田パノラマパークゴルフ場にて開催した。大会当日は天候に恵まれ、絶好のコンディションの中、組合員やその家族、OBの方々など62名が参加した。

開会にあたり連合青森内村隆志会長は「連合青森は1989年12月3日に結成し、今年で30年を迎える。これまでの連合運動を作り上げてきた諸先輩方に感謝し、これからの連合運動を皆で作っていきましょう」と挨拶した。

下は10歳、上は70歳、初心者やベテランが交ざり行われた競技では、ホールインワンを出す人もいれば、何打打ってもカップに入らず手こずる人など見られ、各チーム大きな歓声が響いていた。

成績は以下のとおり。

- ・優勝 高村俊雄 (NTT・OB)
- ・準優勝 今 修司 (NTT・OB)
- ・第3位 棟方和彦 (NTT・OB)
- ・ホールインワン賞 棟方和彦 (NTT・OB)



連合青森結成30年「パークゴルフ」参加者の皆さん



カップインに集中する参加者



入賞したベテランのNTT・OBの方々

連合青森第17回定期大会

連合青森第17回定期大会を下記にて開催する。

- 【日時】 2019年10月29日(火) 13:00
- 【場所】 「青森県労働福祉会館」4階大会議室
青森市本町3丁目3-11
- 【議題】 (1) 2019年度活動報告
(2) 2019年度会計報告
(3) 2019年度会計監査報告
(4) 2020~2021年度運動方針案
(5) 2019年度一般会計収支剰余金処理案
(6) 2020年度予算案
(7) 第16期役員選出案
(8) その他

Welcome!

第27回 食・みどり・ 水のフェスティバル

「青森県の美味しい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で連合青森加盟の労組が中心となって開催します。

【日時】 2019年11月16日(土) 10:00~16:00

【場所】 青森市「サンロード青森」
1F イベントホール

【内容】 支援米発送式・木工体験・野菜輪投げ・利き水コンテスト・地場産品販売・バルーンアート、お楽しみ抽選会、他。

その仕事、 ディーセントですか？



<ディーセント>de-cent [di:snt]【形】

1. きちんとした、適切な、妥当な
2. 魅力的な
3. 相当の

一つでも☑がつかないなら、あなたの仕事、
ディーセントではないかも!?

CHECK LIST

- 1. 安定して働く機会がある。
- 2. 収入は十分(生活し、今後に備えて貯蓄ができる
賞金)である。
- 3. 仕事とプライベート(家庭生活)のバランスが取
れている(長時間労働に苦しんでいない)。
- 4. 雇用保険、医療・年金制度に加入している。
- 5. 仕事で性別(女性だから、男性だから)、性自認
(LGBTI)による不当な扱いを感じることはない。
- 6. 仕事で身体的、精神的危険を感じることはない。
- 7. 働く人の権利が保障されていて(組合に入れる、
作れる、会社と交渉できる)、職場での相談先が
ある。
- 8. 自己の成長、働きがいを感じる事ができる。

ディーセント・ワークって？

“働きがいのある人間らしい仕事”と訳され、1999
年の第87回ILO(国際労働機関)総会で用いられ
て以来、その実現に向け世界各地で取り組みが行
われています。

ディーセント・ワークを実現すると
チェックリスト全部に☑がつかます。

ディーセント・ワークの実現に向けて
持続可能な開発目標(SDGs)ゴールの
一つであり、その促進が全世界共通の
目標になっています。

ディーセント・ワーク
について
もっと詳しく



「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」って？

2015年9月の国連(UN)サミットで採
択された2030年までに達成を目指す世
界共通の目標です。17のゴール・169の
ターゲットから構成されています。

先進国・途上国問わず「誰一人取り残さ
ない」(leaving no one left behind)こ
とを誓い、全世界が取り組んでいます。



労働組合も 取り組んで います!

ゴール8がめざすのは
「すべての人のための
包括的かつ持続可能
な経済成長」そして
「生産的な完全雇用お
よびディーセント・
ワーク」。SDGs達成
の中心となるゴール
です。



世界163ヶ国・地域より2億7百万人の労働者が集ま
るITUC(国際労働組合総連合)は、SDGsを通じた
ディーセント・ワークの実現を目指し、6つの重点
ゴールを定め、取り組んでいます。

